

ゼミノート #11

Overview of

“Existence and properties of geometric quotients” (D.Rydh, 2013)

七条彰紀

2019 年 7 月 22 日

目次

1	事実のまとめ	2
1.1	stack から scheme まで	2
1.2	coarse moduli space が存在するための十分条件	2
1.3	coarse moduli space が存在するための必要条件	2
1.4	その他の moduli space	3
2	論文 “Existence and properties of geometric quotients” [7] の構成	3
2.1	証明の構成	3

このノートは, [7] を理解することを目的とするゼミのためのノートである. Algebraic stack については既に私のノート [9] の内容程度のことを分かっているものとする.

注意 0.1

著者 “Rydh” はスウェーデン語で, 大体「リード」と発音する. 参考: https://forvo.com/word/annika_rydh/

Conventions and Nootations

- 定義は私のノート [9] ch.5 “Algebraic Stacks and Spaces”にあるものとする. 特に, diagonal map が quasi-compact, quasi-separatedであることを仮定しない. これは [7] と同じである. algebraic stack という語は基本的に使わず, artin stack を中心的に扱う.
- artin stack の moduli space というとき, 特別な algebraic space のことを意味することも有るし, artin stack から algebraic space への特別な射のことを意味することもある. (このノートでは後者の意味であることが多い.)
- unramified という語は locally of finite type かつ formally unramified を意味する. 私のノートでは locally

of finite presentation まで要求するので注意せよ.

- presentation of an artin stack とは, surjective, flat^{†1}, locally of finite presentation であるような algebraic space から artin stack への射を言う.
- geometric point とは $\text{Spec } k$ ($k ::$ algebraically closed field) からの射のことである.

1 事実のまとめ

1.1 stack から scheme まで

moduli 問題を含む多くの問題では, まず stack(in groupoids) が得られる. 得られた stack が scheme であればとても取り扱いやすいが, そうなることはめったに無い.

一方で stack と scheme の間には, artin stack, Deligne-Mumford(DM) stack, algebraic space といった中間的概念がある. いつどれになるのか, という条件は既によく研究されていて, 同値条件も得られている. 以下でそれらを列挙する.

まず, 得られた moduli stack が artin stack であるか否かは, “Criteria for Representability”として [8] ch.91 にまとめられている. また, artin stack over a scheme $:: \mathcal{X}$ が Deligne-Mumford stack であるかどうかは, 例えば任意の geometric point の自己同型群が reduced finite group scheme であることと同値である ([6] Thm8.3.3). さらに, \mathcal{X} が algebraic space であることは, 例えば任意の geometric point の自己同型群が自明であることと同値である ([4] Thm2.2.5, [8] tag 04SZ).

1.2 coarse moduli space が存在するための十分条件

しかし, 得られた artin stack が algebraic space であることもめったに無い. 筆者の感覚では, DM stack で既に綺麗すぎる (too neat) 対象である. そこで, artin stack を algebraic space や scheme で近似出来ないか, という問題が生まれる. この近似を coarse moduli space と呼ぶ. なお, これは歴史的な経緯から来た命名であり, 一般には必ずしも moduli 問題と関係が有るわけではない.

artin stack が coarse moduli space をもつための条件も 90 年代から考えられているが, 必要十分条件を得るには程遠い. 十分条件として有名なのは Keel-Mori の定理 ([5]) が提示した「inertia stack が \mathcal{X} -finite」である. 当初は多くの追加条件付きで証明されたが, [3] で base scheme に関する条件が取り外され, 最終的に [7] で artin stack に関する条件が全て取り外された.

他に, gerbe は必ず coarse moduli space を持つ. artin stack が berbe であることは, inertia stack $:: \mathcal{I}_{\mathcal{X}} \rightarrow \mathcal{X}$ が flat and locally of finite presentation であることと同値である.

1.3 coarse moduli space が存在するための必要条件

一方で, coarse moduli space が存在するための必要条件についてはほとんど知られていない. ([3] Cor5.2) では様々な前提条件付きで「separated coarse moduli space が存在する」と「inertia stack が \mathcal{X} -finite」が同値であることを示している. 一方で [7] では反例を構成し, 「inertia stack が \mathcal{X} -proper」さえ必要条件ではないことを示している.

^{†1} surjective+flat=falshfully flat に注意.

1.4 その他の moduli space

また、「inertia stack が \mathcal{X} -finite」より強い条件を課したものとして、「quasi-coherent sheaf の pushforward が exact」を追加した tame Artin stack がある。これは coarse moduli space が etale local に綺麗なものとなっている。

違う方向性では, J.Alper が提案した adquate moduli space と good moduli space がある。good moduli space は quotient map にはなっていないが, GIT quotient に似た優れた性質を持つ ([1])。さらに, artin stack が good moduli space を持つための必要十分条件が分かっている ([2])。

2 論文 “Existence and properties of geometric quotients” [7] の構成

今回取り扱う [7] で述べられている命題のうち, 次のものを特に研究する。

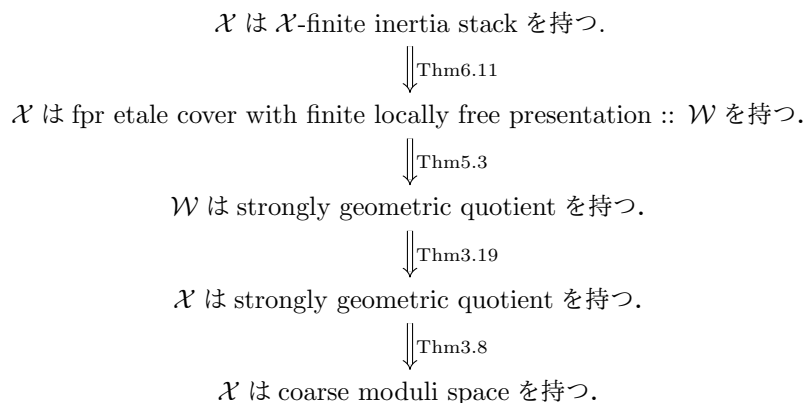
定理 2.1

\mathcal{X} を artin stack とする。 \mathcal{X} が \mathcal{X} -finite inertia stack を持つならば, \mathcal{X} が coarse moduli space を持つ。

論文は基本的に algebraic space の groupoid による商を扱っており, 最後の §6 でそれらが stack の言葉に翻訳される。

2.1 証明の構成

証明は以下のような手順を踏んでいる。



参考文献

- [1] Jarod Alper. Good moduli spaces for artin stacks. *Annales de l’Institut Fourier*, Vol. 63, No. 6, pp. 2349–2402, 2013.
- [2] Jarod Alper, Daniel Halpern-Leistner, and Jochen Heinloth. Existence of moduli spaces for algebraic stacks. <https://arxiv.org/abs/1812.01128>, 12 2018.

- [3] Brian Conrad. The keel-mori theorem via stacks. <https://math.stanford.edu/conrad/papers/coarsespace.pdf>, 2005.
- [4] Brian Conrad. Arithmetic moduli of generalized elliptic curves. *Journal of the Institute of Mathematics of Jussieu*, Vol. 6, pp. 209–278, 04 2007.
- [5] Sean Keel and Shigefumi Mori. Quotients by groupoids. *Annals of Mathematics*, Vol. 145, No. 1, pp. 193–213, 1997.
- [6] Martin Olsson. *Algebraic Spaces and Stacks (American Mathematical Society Colloquium Publications)*. Amer Mathematical Society, 4 2016.
- [7] David Rydh. Existence and properties of geometric quotients. *Journal of Algebraic Geometry*, Vol. 22, pp. 629–669, 08 2013.
- [8] The Stacks Project Authors. *Stacks Project*. <https://stacks.math.columbia.edu>, 2019.
- [9] 七条彰紀. Algebraic stacks, Sep 2018. <https://github.com/ShitijyouA/MathNotes/tree/master/AlgebraicStacks>.